

要 望 書

《 国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 に つ い て 》

【令和 6 年 1 1 月】

国道 3 4 9 号建設促進期成同盟会
会 長 根 本 匠

国道３４９号の整備促進について

国道３４９号は、昭和５０年４月に国道へ昇格以来、漸次改良整備が進められ、着々とその成果が得られておりますことに感謝申し上げます。

当国道は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約２６０km、沿線３県・１８市町村に及ぶ路線であり、その路程の多くが阿武隈山系等山間部を通過し、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい区間が残されているため、国道としての機能を十分に発揮できておりません。また、沿線市町村の中心市街地等においても、大型車両をはじめとする通行量の増大により歩道等交通安全施設の未整備区間では歩行者等が危険にさらされているなど、地域住民より一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、言うまでもなく、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で、最も基本的な社会資本であり、さらに、今、我々市町村にとって喫緊の課題である「人口減少克服」と「地方創生」を進め、創意と工夫による魅力あるまちづくりを実現するためには、道路整備は不可欠であります。

また、東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬、緊急車両の通行など「命をつなぐ道」としてその重要性が改めて認識され、震災を教訓として幹線道路のみならず、それを補完する道路を整備し、代替性・多重性のある道路ネットワークの構築が強く求められており、正に国道３４９号はその機能を十分発揮できるものと我々は期待しております。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして国道３４９号が災害時における幹線道路等の補完機能を十分に果たせるよう、沿線市町村が強く求める整備促進要望箇所の改良整備促進について、特段のお力添えを賜りますよう要望いたします。

国道 3 4 9 号 整備促進要望箇所

市町村名	要望 番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
		箇所名（地名）	延長 m	
伊 達 市	①	梁川町五十沢字荒屋敷地内 ～切立地内	2,500	道 路 改 良
	②	梁 川 バ イ パ ス	970	道 路 改 良 (歩 道 設 置)
	③	保原町字十二丁目地内 ～梁川町柳田字下畑地内	3,100	道 路 改 良 (歩 道 整 備)
	④	保原町字四丁目地内～赤橋地内	450	管 理 移 管
川 俣 町	⑤	飯 坂 地 区	10	土 砂 流 水 対 策
	⑥	大 作 ～ 賤 ノ 田 地 区	400	道 路 改 良 (歩 道 整 備)
二 本 松 市	⑦	針 道 字 樋 町 地 区	100	交通安全施設等整備
	⑧	戸 沢 字 六 角 地 区	400	道 路 改 良
	⑨	戸 沢 字 万 上 地 区	200	道 路 改 良
	⑩	杉 沢 字 宮 ノ 前 地 区	150	道 路 改 良
田 村 市	⑪	船引町新館字軽井沢地内 ～ 新 館 字 曲 山 地 内	1,500	道 路 改 良 (歩 道 整 備)
	⑫	船引町大倉字聖石地内 ～ 大 倉 字 上 台 地 内	800	道 路 改 良 (歩 道 整 備)
	⑬	船引町門鹿字荒屋敷地内 ～ 門 鹿 字 樋 ノ 口 地 内	1,100	道 路 改 良
	⑭	大越町牧野字笹ノ町地区	100	交通安全施設等整備 (歩 道 設 置)
小 野 町	⑮	谷 津 作 地 区	300	歩 道 設 置

市町村名	要望 番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
		箇所名（地名）	延長 m	
い わ き 市	⑩	三 和 町 上 三 坂 地 区	100	交 差 点 改 良
平 田 村 古 殿 町	⑪	平田村北方字檜坂地区 ～古殿町山上字才木草地区	2,150	道 路 改 良
鯨 川 村	⑫	強 滝 地 区	400	道 路 改 良
	⑬	滝 ノ 下 地 区	1,600	道 路 改 良
	⑭	戸 草 ・ 大 竹 地 区	3,000	道 路 改 良
埴 町	⑮	那 倉 地 区	1,200	道 路 改 良
	⑯	南 田 代 地 区	2,400	道 路 改 良
	⑰	片 貝 地 区	1,800	道 路 改 良
埴 矢 祭 町	⑱	宝 坂 川 又 地 区	520	道 路 改 良
矢 祭 町	⑲	宝 坂 工 区 （ 宝 坂 ）	4,000	道 路 改 良
矢 埴 鯨 祭 川 村	⑳	矢祭町小田川字春田地内 ～鯨川村赤坂中野字宿ノ入地内	35,000	道 路 改 良

要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
①	要望箇所	梁川町五十沢字荒屋敷地内～切立地内	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 5 0 0
		《現状と要望事項》 伊達市梁川町五十沢字柴崎地内～沼ノ平地内の区間は、福島県と宮城県南部を結ぶ重要な幹線道路であり、地域の生活用道路でもあります。 また、当区間は、阿武隈川の増水時には冠水によって通行不能となる箇所であり、幅員も狹隘で屈曲が続くため、対面交差ができず、一方が待避所まで後退しなければならないことから、円滑で安全な通行に支障をきたしております。 宮城県においては、令和元年東日本台風の被害により、国道 349 号丸森地区を対象に、山側への別ルートで国直轄権限代行業による災害復旧事業に着手され、福島県においては、県境部から兜橋の区間について、宮城県側との県境を跨ぐ一体的な整備を進めていただいているところであります。 つきましては、県境から兜橋の区間を宮城県に遅れることなく早期整備を図るとともに、残りの区間についても早期事業化が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
②	要望箇所	梁 川 バ イ パ ス	
		事業内容	道 路 改 良 (歩道設置)
		延長 (m)	9 7 0
		《現状と要望事項》 伊達市梁川町中心部を縦貫する本路線は、梁川バイパスとして令和4年9月23日に開通したところであります。 つきましては、今後も歩行者の安全確保のため、広瀬大橋前後の両側歩道の設置が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
③	要望箇所	保原町字十二丁目地内～梁川町柳田字下畑地内	
		事業内容	道 路 改 良 (歩道整備)
		延長 (m)	3, 1 0 0
		《現状と要望事項》 伊達市保原町字十二丁目地内～梁川町柳田字下畑地内の区間は、梁川地域と保原地域を結ぶ交通量の多い区間ではありますが、車道並びに歩道の幅員が狭く、また、歩道未整備区間もあるため、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、全線に亘る両側歩道の整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
④	要望箇所	保原町字四丁目地内～赤橋地内	
		事業内容	管 理 移 管
		延長（m）	4 5 0
		《現状と要望事項》 伊達市保原町字四丁目地内～赤橋地内の区間は、伊達市の中心市街地に位置し、自動車、歩行者及び自転車の通行量が大変多い一方通行区間であります。 本道路周辺は家屋連坦地区のため、現道による改良整備が困難なことから、代替路線整備による通行確保が求められております。 つきましては、保原町字四丁目地内～赤橋地内の代替ルート確保について検討し、大型車両等の安全な通行が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 川 俣 町	
⑤	要望箇所	飯 坂 地 区	
		事 業 内 容	土砂流水対策
		延長（m）	1 0
		《現状と要望事項》 平成 18 年 3 月に鳴石トンネルが開通し、安全な地域交通が図られたところではありますが、令和元年東日本台風の豪雨により、トンネル南側（入口）の普通河川小島坂川が広瀬川の増水による土砂の流入により河道閉塞し、国道橋梁部から越水して土砂流水がトンネル内に流れ、通行止めとなったところがあります。 つきましては、豪雨時でも小島坂川の流下能力を確保し地域交通が分断されることが無いよう、対策事業の実施について特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 川 俣 町	
⑥	要望箇所	大 作 ～ 賤 ノ 田 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良 (歩道整備)
		延長 (m)	4 0 0
		《現状と要望事項》 川俣町の大作～賤ノ田地区は、小学校や老人福祉センター等公共施設利用者が多い地区であり、児童、老人等の歩行者が利用しておりますが、歩道が狭く、また、大型車両の通行が多いことから、大変危険な状況にあります。 つきましては、歩行者の安心・安全な通行の確保のため、早急に歩道整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
⑦	要望箇所	針道字櫓町地区	
		事 業 内 容	交通安全施設等整備
		延長（m）	1 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市針道字櫓町は、東和中学校、東和小学校、カントリーパークとうわへの市道及び針道の旧商店街への市道交差点が約 60m間にあり、右折する際に後続車の追突等の事故が懸念されるなど大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に右折レーン等交通安全施設等の整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
⑧	要望箇所	戸沢字六角地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	4 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市戸沢字六角地区は、2車線で歩道も整備されている区間ですが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬期間は日当たりが悪いため、路面凍結によるスリップ事故也多発しており、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
⑨	要望箇所	戸沢字万上地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2 0 0
		《現状と要望事項》 二本松市戸沢字万上地区は、2車線で歩道も整備されている区間ではありますが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬期間は日当たりが悪いため、路面が凍結し、自損事故等多発しているなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
⑩	要望箇所	杉沢字宮ノ前地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1 5 0
		《現状と要望事項》 二本松市杉沢字宮ノ前地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。 さらに、当区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
⑫	要望箇所	船引町大倉字聖石地内～大倉字上台地内	
		事 業 内 容	道 路 改 良 (歩道整備)
		延長 (m)	8 0 0
		《現状と要望事項》 田村市船引町大倉字聖石地内～大倉字上台地内は、美山小学校・船引中学校のスクールバス停留所までの通学路であり、二本松市・福島市への通行路線としても利用されている重要な路線であります。 当箇所は、郵便局や商店街、一般住宅が密集しておりますが、歩道が整備されておらず歩行者は路肩を通行しており非常に危険な状況にあります。また、舗装や側溝も劣化・破損しております。 つきましては、早急に改良整備及び歩道整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
⑬	要望箇所	船引町門鹿字荒屋敷地内～門鹿字樋ノ口地内	
		事業内容	道 路 改 良
		延長（m）	1, 1 0 0
		《現状と要望事項》 田村市船引町門鹿字荒屋敷地内～門鹿字樋ノ口地内は、幅員が狭隘のため大型車両との対面交差が困難な状況にあります。 さらに当区間は、歩道が整備されておらず、通学中の児童が危険にさらされております。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
⑭	要望箇所	大越町牧野字笹ノ町地区	
		事 業 内 容	交通安全施設等整備 (歩道設置)
		延長 (m)	1 0 0
		《現状と要望事項》 田村市大越町牧野字笹ノ町地区は、通学路でありながら、狭隘で車両防護柵もない歩道未設置箇所があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に歩道等交通安全施設等の整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



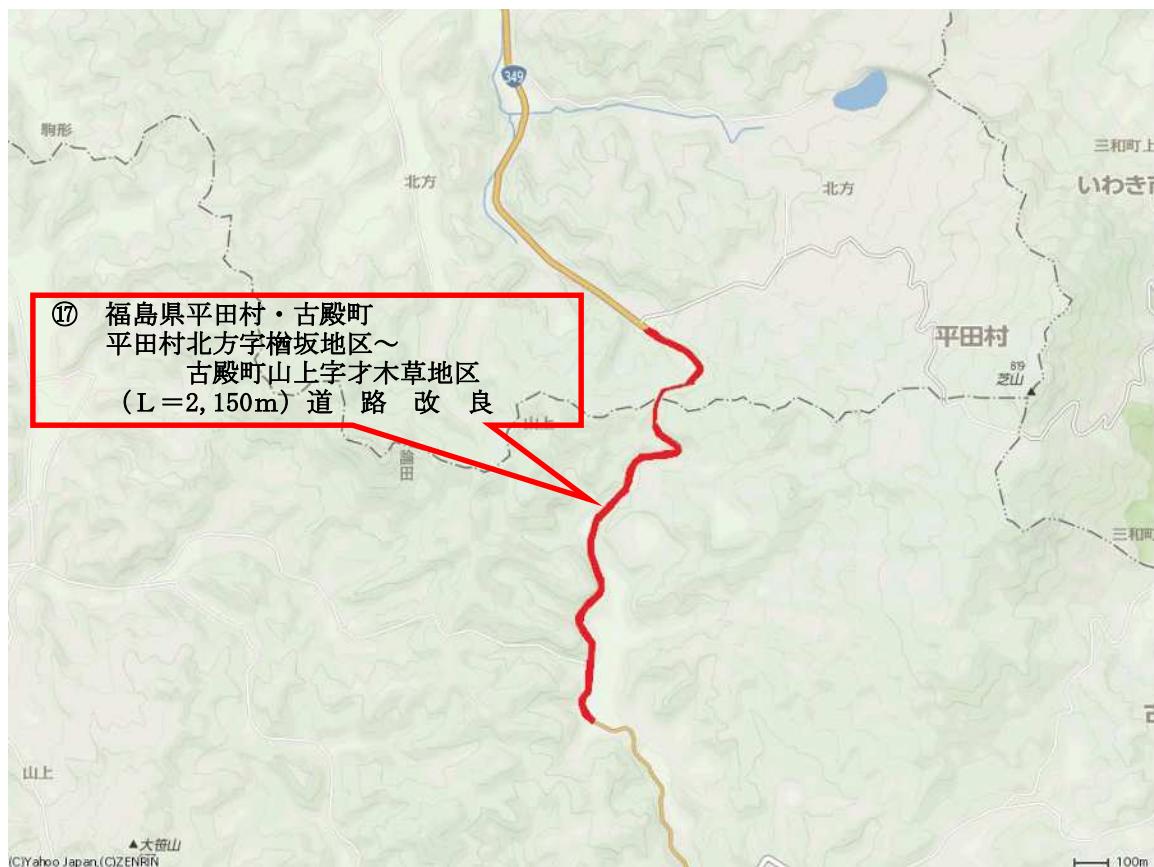
要望 番号	市町村名	福 島 県 小 野 町	
⑮	要望箇所	谷 津 作 地 区	
		事業内容	歩 道 設 置
		延長 (m)	3 0 0
		《現状と要望事項》 小野町谷津作地区は、近隣小・中学校の通学路として利用されておりますが、歩道が整備されていない区間があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、令和2年度から歩道設置事業に着手いただいているところでありますが、早期完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



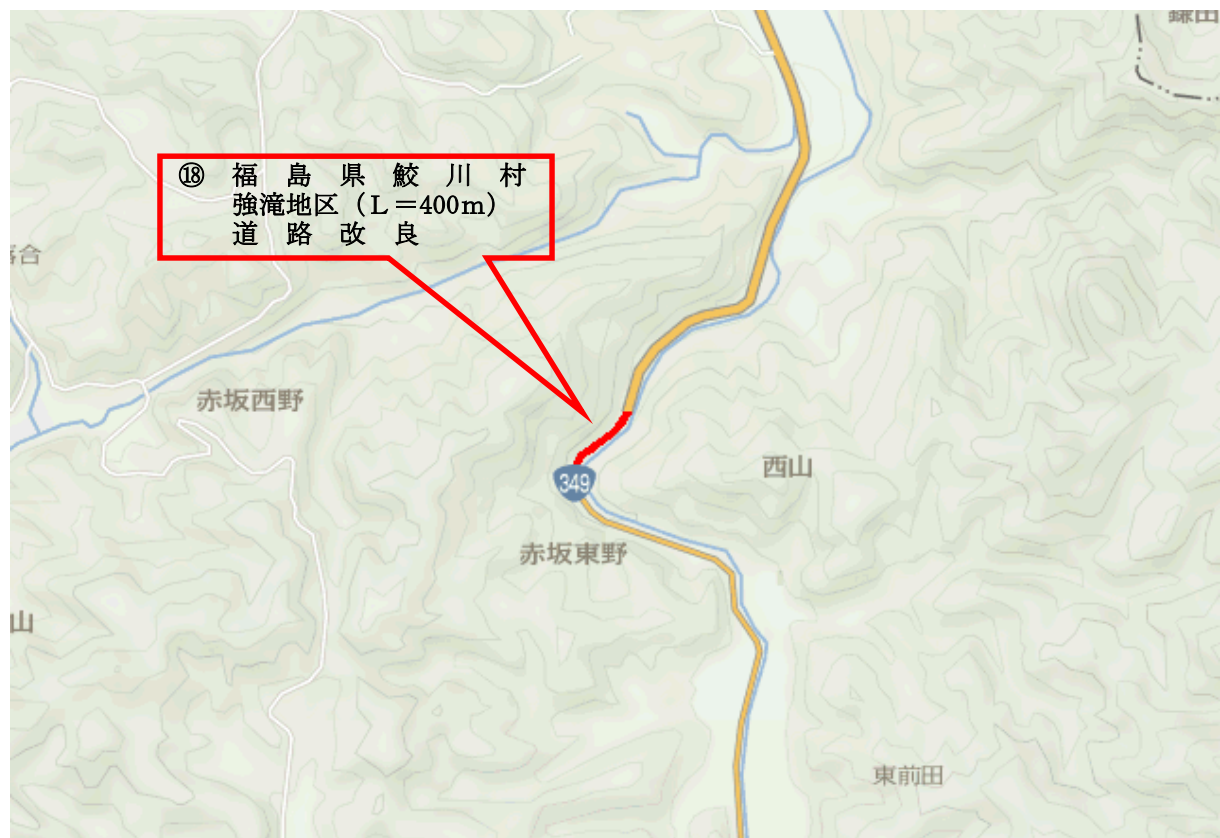
要望 番号	市町村名	福 島 県 い わ き 市	
⑬	要望箇所	三和町上三坂地区	
		事業内容	交 差 点 改 良
		延長 (m)	1 0 0
		《現状と要望事項》 いわき市三和町上三坂地区にある交差点は、重要物流道路に指定されている国道 49 号と交差しておりますが、その交差形状が悪く、国道 349 号から上り方面の国道 49 号への左折及び下り方面の国道 49 号から国道 349 号への右折において、大型車両の通行が非常に危険な状況にあります。 つきましては、早急に交差点の改良が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 平 田 村 ・ 古 殿 町	
⑰	要望箇所	平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 1 5 0
		《現状と要望事項》 平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区は、幅員狭隘にして屈曲が続いており、また急勾配でもあるため、特に、大型車両との対面交差が困難な状況にあり、車両交差を行うためには、坂道で見通しの悪い状況下で一方が待避所等まで後退しなければならず、大変危険な状況にあります。 つきましては、現在、改良工事が進められておりますが、一日も早い完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
⑱	要望箇所	強 滝 地 区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長（m）	4 0 0
		《現状と要望事項》 鮫川村西山字強滝地内は、一部は改良されておりますが、未改良区間は狭隘で急勾配、急カーブが連続しており、特に冬期間においては、路面凍結によるスリップ事故が多発するなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、当区間の早期完成について、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
⑪	要望箇所	滝 ノ 下 地 区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 6 0 0
		《現状と要望事項》 鮫川村赤坂東野字滝ノ下地内は、幅員が狭隘で屈曲が続いており、普通車両同士の対面交差も容易ではなく、接触事故が多発しております。 また、当区間は、幼児バス・スクールバスが運行されている路線でもあり、これら大型車両との交差を行うためには、一方が民家の入口などに移動しなくてはならないなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
②⑩	要望箇所	戸 草 ・ 大 竹 地 区	
		事 業 内 容	道 路 改 良
		延長 (m)	3, 0 0 0
		《現状と要望事項》 鮫川村赤坂東野字戸草地内は、幅員が狭隘の上、屈曲が連続する俗称「つづらおり」区間であり、接触事故が多発しております。 また、スクールバス等大型車両との対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならないなど、大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
㊴	要望箇所	那 倉 地 区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 2 0 0
		《現状と要望事項》 塙町那倉地区は、通学路及びバス路線となっておりますが、幅員狭隘にして屈曲が多いため、大型車両との交差が難しく歩行者・車両通行ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備を図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
②	要望箇所	南 田 代 地 区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 4 0 0
		《現状と要望事項》 塙町南田代地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、歩行者・車両通行ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備を図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
②③	要望箇所	片 貝 地 区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	1, 8 0 0
		《現状と要望事項》 塙町片貝地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に改良整備を図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町 ・ 矢 祭 町	
②④	要望箇所	宝坂川又地区	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	5 2 0
		《現状と要望事項》 茨城県から国道349号を利用し、塙町湯岐温泉へ観光バスなどで来られる方や、併せて観光ルートとして同路線から矢祭町道を利用し滝川溪谷へ行かれる方も多く、当該箇所は国道と矢祭町道の交差点が鋭角でバスが一度で旋回できない状況にあります。 また、幅員狭隘な箇所も多く、路肩損傷や崩落している箇所があります。 つきましては、早急に改良整備を図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	

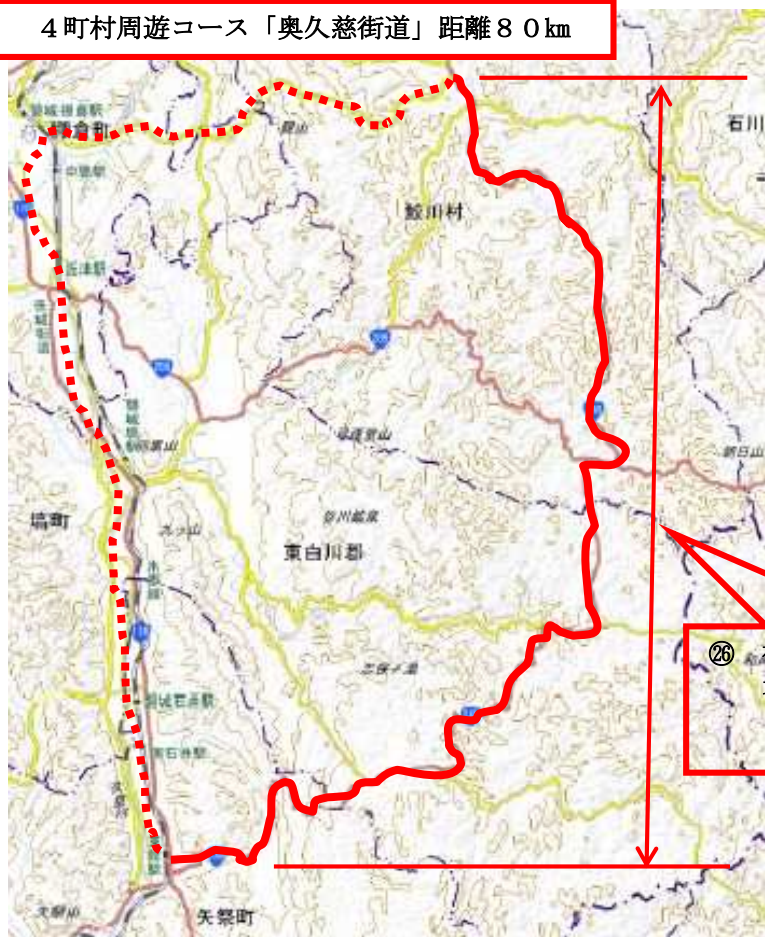


要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
②⑤	要望箇所	宝坂工区（宝坂）	
		事業内容	道 路 改 良
		延長（m）	4, 0 0 0
		《現状と要望事項》 矢祭町宝坂工区は、通園・通学のバス路線となっておりますが、幅員が極めて狭く、また、急勾配のうえ、急カーブも多いため、車両通行が大変危険な状況にあります。 特に冬季の積雪時には、大型車両の立ち往生などが発生することもあり、沿線住民の生活にも支障が生じております。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町 ・ 塙 町 ・ 鮫 川 村	
②⑥	要望箇所	矢祭町小田川字春田地内～鮫川村赤坂中野字宿ノ入地内	
		事業内容	道 路 改 良
		延長 (m)	3 5 , 0 0 0
		《現状と要望事項》 東白川郡内4町村で構成している東白川地方自転車推進協議会では、国道 349 号を含め 4 町村周遊コース「奥久慈街道」80 kmコースに位置づけております。当コース上にある国道 349 号は、幅員狭隘な箇所も多く、路面損傷や路肩崩落している箇所があります。 つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。	

4 町村周遊コース「奥久慈街道」距離 8 0 km



②⑥ 福島県矢祭町・塙町・鮫川村
矢祭町小田川字春田地内～
鮫川村赤坂中野字宿ノ入地内
(L=35,000m) 道 路 改 良

国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本	匠	
副会長	宮 田	達 夫	(茨城県 常陸太田市 市長)
副会長	岡 部	光 徳	(福島県 古 殿 町 長)
副会長	保 科	郷 雄	(宮城県 丸 森 町 長)
	高 橋	靖	(茨城県 水 戸 市 長)
	小 川	春 樹	(茨城県 日 立 市 長)
	先 崎	光	(茨城県 那 珂 市 長)
	内 田	広 之	(福島県 いわき市 市長)
	佐 川	正 一 郎	(福島県 矢 祭 町 長)
	宮 田	秀 利	(福島県 塙 町 長)
	宗 田	雅 之	(福島県 鮫 川 村 長)
	澤 村	和 明	(福島県 平 田 村 長)
	村 上	昭 正	(福島県 小 野 町 長)
	白 石	高 司	(福島県 田 村 市 長)
	三 保	一	(福島県 二本松市 市長)
	藤 原	二	(福島県 川 俣 町 長)
	須 田	博 行	(福島県 伊 達 市 長)
	黒 須	貫	(宮城県 角 田 市 長)
	滝 口	茂	(宮城県 柴 田 町 長)

《国道349号全線図》



【沿線市町村】

◎宮城県

柴田町
角田市
丸森町

◎福島県

伊達市
川俣町
二本松市
田村市
小野町
いわき市
平田村
古殿町
鮫川村
塙町
矢祭町

◎茨城県

常陸太田市
日立市
那珂市
水戸市